

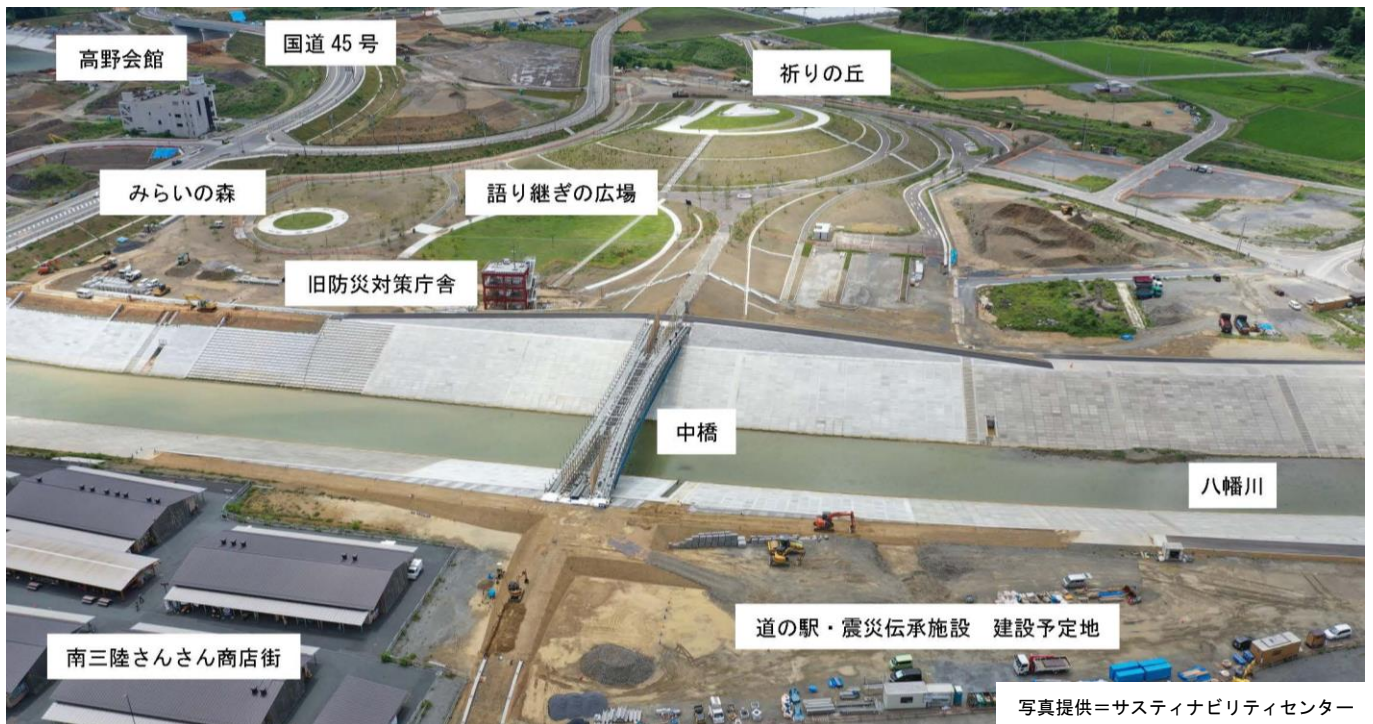
南三陸 復興まちづくり通信

第75号 (令和2年9月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。



南三陸町震災復興祈念公園 10月全体開園

南三陸町が志津川地区に整備を進めてきた震災復興祈念公園が10月に全体開園します。昨年12月に「折りの丘」と「復興祈念のテラス」周辺などが一部開園。3月には「語り継ぎの広場」や「未来の森」など入園エリアが拡大されました。現在、

旧防災対策庁舎の周囲を含む八幡川沿いのエリアの整備が急ピッチで進められています。開園と同時に、公園と南三陸さんさん商店街を結ぶ中橋も通行可能になります。来年秋には商店街の隣接地に道の駅と震災伝承施設、JR気仙沼線BRT駅などの公共交通ターミナルが開業する予定です。



地域活動の拠点完成！ 新入谷公民館開館

老朽化で建て替え工事が進められていた入谷公民館の移転新築工事が完成し7月29日、地域の住民約50人が出席し開館式が行われました。式の前にはテープカットが行われ、入谷ひがし幼稚園の子どもたちが歌や踊りを披露し、オープンを祝いました。

場所は旧入谷中学校跡地で、木造平屋建てで面積400平方メートル。面積と機能は旧公民館とほぼ同じですが、高齢者でも利用しやすいバリアフリー構造。駐車場も広くなり、災害時の避難所機能が強化されました。

志津川中央復興住宅で「椿のお話し会」

志津川中央復興公営住宅の集会所で8月25日、復興みなさん会主催の「椿のお話し会」が開かれ、入居者9人が参加しました。みなさん会のメンバーが、今年10月に全体開園する南三陸町復興祈念公園について、ドローンで撮影した航空写真を使って説明。植樹の計画や伝承活動について意見を出しあったほか、公園内での椿の植樹に参加することを決めました。マスク着用で3密を避けるなど、しっかりとコロナ対策をしながらの交流会でした。



木の家づくり互助会7月定例会

町産材を活用した家づくりを推進している「南三陸木の家づくり互助会」の7月定例会が27日、戸倉波伝谷の「軽食ちょこっと」で開催され、11人が出席しました。新型コロナウイルス感染症流行下の建築業界の状況や、地方の現状と今後の見通しなどについて情報を共有したほか、戸倉地区に建設を予定している木の家のモデルハウスについて協議が行われました。

9月定例会は、福島県内の板倉長屋2か所（三島・磐梯）の視察ツアーを行うことになりました。



グラウンドゴルフで地域交流会

新型コロナに負けず、屋外での活動で楽しく過ごそうと「グラウンドゴルフ地域交流会」が7月20日、歌津復興交流センターの芝生広場で開催されました。歌津支援の会一燈が主催したもので、曹洞宗山形県第三宗務所ボランティア協議会の阿部龍男会長ら3人と地区住民の計30人が参加しました。山形から参加した木村嶺佑さんは「楽しいけど、難しい。機会があれば、またやってみたい」と話しました。終了後には、コロナ対策として屋外でお茶会をしました。



【雑感】

二十四節気では白露の候となり、朝露が葉っぱの上に白くコロンと見え始める頃。この日は、空の上で波比岐神（ナミヒキノカミ）さまが秋の波風を「まあまあまあ」と抑えるためにひと働きしてくるそうです。地球温暖化の影響を受け、季節の顔が豹変しているこの頃を想うと、波風の無い、「風」の状態が、一番難しく、幸せですね。

寄せ来る波風は程ほどに、穏やかに過ぎて欲しいと願うこの秋、南三陸町震災復興祈念公園が全体開園の運びとなり、中橋も通れるようになりま

す。

震災後、町の皆さんと種を拾って大切に育てていた椿の苗木は、公園内の「未来の森」に植樹します。椿のように遅く根を張って生きることを誓いながら、祈りを込めて植えたいと思います。

当会は、中日新聞社会事業団東日本復興支援金、県共募みやぎチャレンジプロジェクト、仙台銀行まちづくり基金、みやぎ地域復興支援助成金、おらほのまちづくり支援事業および東日本大震災現地NPO 応援基金[緊急助成]のご支援をいただき活動しています。